

事務事業評価シート

(H.29)No.	1190	(H.28)No.	1190
-----------	------	-----------	------

事務事業名	人権教育推進のための調査研究事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	中森 早苗	

会計区分	事業コード	466801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	人権教育推進のための調査研究事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	人権教育推進のための調査研究事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	1	人を大切にする社会の創造
	施 策	1	人権尊重
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
「部落問題を考える小学生のつどい」、「中学校ヒューマンライツ」の取組により、人権問題をテーマに子どもたちがつながる機会をもちます。また、中学校区別の研修会や各中学校区の人権教育推進協議会を中心とした地域内の人権教育の課題解決に向けた研修会の充実を図ります。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区において連携を図るため、教職員の研修や実践交流会を充実させます。 ・管理職や人権教育担当者としての人権感覚を磨くための研修会を実施します。 ・部落問題を考える児童生徒のつどいを実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区別人権教育推進協議会研修会・ヒューマンライツ担当者会・中学校区別研修会・管理職研修会・人権・同和教育担当者研修会 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区別人権教育推進協議会研修会・ヒューマンライツ担当者会・中学校区別研修会・管理職研修会・人権・同和教育担当者研修会 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区別人権教育推進協議会研修会・ヒューマンライツ担当者会・中学校区別研修会・管理職研修会・人権・同和教育担当者研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区別人権教育推進協議会研修会・ヒューマンライツ担当者会・中学校区別研修会・管理職研修会・人権・同和教育担当者研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区別人権教育推進協議会研修会・ヒューマンライツ担当者会・中学校区別研修会・管理職研修会・人権・同和教育担当者研修会

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		94千円		215千円	215千円	215千円	215千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	94	0	215	215	215
人工数	職員		0.10人	0.52人	0.52人	0.52人	0.52人
	臨時職員等		0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
②概算人件費	0千円	784千円	0千円	3,934千円	3,934千円	3,934千円	3,934千円
①+②総事業費	0千円	878千円	0千円	4,149千円	4,149千円	4,149千円	4,149千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区での研修会が充実するとともに、小中の連携の中で、教職員同士のコミュニケーションを図ることができました。 ・「部落問題を考える小学生のつどい」等に参加することにより、児童生徒の交流も図ることができました。人権教育の充実を図り、一人ひとりの生命や人権を尊重する態度、部落問題をはじめとするあらゆる差別をなくそうとする意欲と実践力を育むことができました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を越えての共通理解をより深めていく必要があります。 ・作成した人権教育カリキュラムについて、引き続き検討を加えます。教職員の人権感覚を磨き、更なるスキルアップを図るためには、研修会等継続した取組が必要です。また「部落問題を考える小学生のつどい」等に参加することによる児童生徒の交流も重要な取組です。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョン ぱりっすくすく計画(第3次) 名張市男女共同参画基本計画